

説明会における主な意見

別紙6

地区館名	三池地区公民館	実施日	令和 元 年 6 月 7 日
参加者数	22人	場所	研修室A
主な意見	※紙面の都合上、質問については割愛しています。(以下、同様です。)		
<p>1) 飯塚市役所の庁舎は確かに便利だが、コストがかかるならば、モデルにする必要はない。</p> <p>2) 本館は登録有形文化財であるため、歴史館として残してはどうか。</p> <p>3) 移転建替えであれば、費用は50億円以下になるのではないか。</p> <p>4) 市民一人当たりどの位の負担が生じるかについての説明がないのはおかしい。</p> <p>5) 市民の利用頻度が低い所と高い所を分けるなど、工夫することにより本館を残せるのではないか。</p> <p>6) 炭鉱関連の世界遺産に本館の価値も連続していると思う。</p> <p>7) 登録有形文化財の公共建築で、抹消されたものは小規模なもの1件のみ。本館規模の大きな建物の解体による抹消は例がなく、全国の笑いものになる。</p> <p>8) 本館を建て替えることで、よい庁舎が作られることを望む。</p> <p>9) 市民意見をまとめたり、職員数を減らしてからでないと市民の理解は得られない。</p> <p>10) 本館の耐震性を向上させるため、とりあえず、耐震化工事をすればよいと思う。</p> <p>11) 解体か保存かの2択ではなく、第3の案を検討してほしい。解体派と保存派の対立構造となっているため、どちらの納得が得られるような落としどころを見つけてほしい。住民投票をしてもいいと思う。</p> <p>12) 市民の気持ちに寄り添ってほしい。多額の税金が使われることを望んでいない。知恵を使ってほしい。</p> <p>13) 議会は説明不足だけでなく、さらなる検討も必要と指摘している。基本方針（案）の内容が前回の説明会と変わっていないのはおかしい。</p>			

地区館名	勝立地区公民館	実施日	令和 元 年 6 月 8 日
参加者数	13人	場所	研修室
主な意見	<p>1) 本館は保存しても意味がないと思う。現在地で新庁舎を作るべき。</p> <p>2) 耐震改修を行えば、80億円の半額程度で対応できる。残した方がお金がかかるという市の説明はおかしい。</p> <p>3) 本館は、S11年建設と古く、庁舎の機能を果たしていない。建て替えるべき。</p> <p>4) 議会は、市民への説明不足だけでなく、客観性のある更なる検討が必要と言っている。更なる検討をどのように進めているのか。</p> <p>5) ケース1とケース2の概算費用の試算は、10年後に変わることがあるのか。</p> <p>6) できるだけ費用を抑え、小さく新しい庁舎を望む。</p> <p>7) 今後の財政運営を考えれば一定の理解はできるものの、市民の理解が得られているとは思えない。</p> <p>8) 財政構造強化指針では、今後赤字が増えるとされているが、庁舎、体育館、ごみ処理施設などの大型事業を含まなくてもということである。財政との整合性が取れないのではないか。</p> <p>9) 都市計画マスタープランにおいては、景観形成を重視することとされている。登録有形文化財である庁舎を壊すことは、都市マスの理念に反するのではないか。</p> <p>10) 財政が厳しい中、なぜ、一番安いモデルケース（全て改修）を採用しないのか、理解できない。</p>		

地区館名	中央地区公民館	実施日	令和 元年 6 月 10 日
参加者数	27人	場所	研修室A
主な意見	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本館の一部を保存することについて、より深く検討してほしい。</li> <li>2) 本館は確かに不便だが、エレベーターをつけたり、分かりやすい案内板をつけるなどにより改善するのではないか。財政が厳しい中で建替えを行う必要はないと思う。</li> <li>3) 2月の説明会で出ている市民の意見が基本方針（案）に反映されていない。 説明会で出た意見は、市民に知らせるべきである。</li> <li>4) 今の生活でも厳しいのに、建替えによりさらに負担がかかるのは受け入れがたい。</li> <li>5) 今の庁舎はエレベーターが少なく、車椅子の人が移動しにくい。なるべくお金をかけず、新庁舎を建設してほしい。</li> <li>6) 本館をモニュメントとして残してほしい。本館を売却できるよう、次の世代にオプションを残しておくべき。</li> <li>7) 笹林公園に新庁舎を建てば、仮庁舎が不要となるため、よいと思う。</li> <li>8) 本館を残してほしいという思いはあるが、将来のことを考えると建替えに賛成。</li> <li>9) 費用のことを考えれば、免震工法ではなく耐震工法による改修でよい。</li> <li>10) 市民サービスの向上という点では、エレベーター側に市民課等を配置するなどすれば配置の工夫によりお金を使わずにできるのではないか。</li> <li>11) 文化財を保護する立場の市役所が、本館を壊すことになれば、全国の笑いものになる。</li> <li>12) 本館を観光資源として活用してほしい。</li> <li>13) 地区館や商業施設で各種申請受付ができるなど、高齢者が市役所にいなくてよいようにしてほしい。</li> <li>14) 庁舎整備検討委員会の委員長は、本館を壊す結論を出していないのに壊そうとしているのはおかしい。</li> <li>15) 大牟田市において震度6の地震が発生する可能性は低く、災害対策の機能はほどほどでよいのではないか。</li> </ol>		

地区館名	駛馬地区公民館	実施日	令和 元年 6 月 18 日
参加者数	10人	場所	視聴覚室
主な意見	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 財政学者の意見を聞く必要がある。</li> <li>2) 本館の保護、存続を多くの市民が希望している。残すべきである。</li> <li>3) アンケート対象者（2,000人）は全市民の約2%にも満たないため、これで判断するというのはおかしい。</li> <li>4) 整備費用は、今後、3倍、4倍に増えると予想される。後世に借金を残したくない。</li> <li>5) 財政計画を具体的に示し、事業の優先順位を早急に決める必要がある。</li> <li>6) 市役所には年に1階しか行かないから、何億円ものお金をかけて孫の代に背負わせるのは申し訳ない。モデルケースA（41.2億円）は耐震改修で試算すればもっと安くなる。耐震改修でよいと思う。</li> <li>7) 執務室の配置を変えることにより、不便を解消できる。証明書の発行などは、公民館や商業施設で行えるようにすべき。</li> <li>8) 庁舎は建て替えた方がよい。現在の本館は、現状に合っていない。</li> <li>9) 東京では、市役所の職員が用件を聞いて対応している。大牟田市役所の職員は、廊下で声をかけることはない。そこから変えるべきであり、利便性を追求する必要はない。</li> <li>10) 市長は機能性を重視すると言っているが財政のことはほぼ考えていないのではないか。建替え前提という印象を受ける。</li> <li>11) ケース1と2だけではなく、本館を耐震改修した場合の累計費用と比較すべき。</li> <li>12) 庁舎見学会（20名）を受け入れてほしい。世界遺産・文化財室が案内すべき。</li> <li>13) 市長を交えて文化会館大ホールで討論会を実施したい。</li> <li>14) 佐賀県庁は24億円で耐震改修され、機能の向上が図られている。このような事例も調査した上で検討すべき。</li> </ol>		

地区館名	吉野地区公民館	実施日	令和 元年 6 月 19 日
参加者数	22人	場所	研修室A
主な意見	<p>1)他の自治体も歴史ある庁舎は残している事例が多くあるのに、なぜ大牟田は解体しようとしているのか理解できない。残す方向で検討してほしい。</p> <p>2)モデルケースAで耐震改修すれば良いと思う。学校等も耐震改修し、機能向上が図られている。</p> <p>3)費用が少ない工夫を検討できるよう、専門家の話を聞くべき。</p> <p>4)どの建築家に聞いても、本館を解体しないと新庁舎をうまくつくれないという人はいない。耐震改修を行えば、費用も15億円程度で済む。20年したら再度検討が必要ということはない。鉄筋が錆びないようにすれば、何十年も使うことはできる。佐賀県庁などの改修事例も見ながら、検討を進めるべきである。</p> <p>5)登録有形文化財の解体による抹消事例は約200件ということだが、ほとんどが民間所有のものであり、公共建築ではほとんど見られない。解体すれば、大牟田の名を汚すことになる。</p> <p>6)庁舎整備検討委員会での検討内容が無視されているように感じる。建替えに反対意見もあったはずである。</p> <p>7)専門家から意見をもらうためにも、概算費用の内訳を公表すべき。</p> <p>8)市民アンケート調査の内容も、実施前に公表すべき。</p> <p>9)市民アンケート調査の中に、耐震改修の案も含めて意見を求めるべき。</p>		

地区館名	手鎌地区公民館	実施日	令和 元年 6 月 21 日
参加者数	14人	場所	研修室A
主な意見	<p>1)日本中、同じ景色ばかりでまちの景色がないところが多い中、大牟田には市庁舎がある。庁舎という景観がある中で市民が生活することに意味があるのではないか。</p> <p>2)40年後の人口が5万人~7万人と減る中で、新しい庁舎を建てる必要はない。</p> <p>3)市庁舎を残し、観光資源として活用する方法もあるのではないか。</p> <p>4)昨年のアンケートは1,000人の意見となっており、市民の意見としては説得力がない。残すか残さないかの選挙をすべきである。</p> <p>5)建替えで多くのお金を使うのではなく、小出しに支出したほうがいい。佐賀県庁も耐震改修で対応している。</p> <p>6)国からの補助金の関係で、検討を急ぎすぎているのではないか。</p> <p>7)人口が減少しているのに、お金がかかることをするのは矛盾していると感じる。</p> <p>8)ごみ処理施設の建設等の大型事業も予定されている中での財政運営の見通しについて明確に答えてほしい。</p> <p>9)庁舎整備検討委員会の元委員長らから出された抗議文を市は重く受け止めると言っていたのに、議会では「個人的な見解」と答えている。何のための委員会だったのか、明確にしてほしい。</p> <p>10)市庁舎以外にも大きな事業がある。例えば、今、ニュースでは水道管の老朽化などが取りざたされている。それらの取替えなども必要となるため、人口が減っても対応できるように備えておく必要があると思う。</p> <p>11)庁舎を笹林公園に建てれば、建設後に引越しできるため、有利ではないか。</p> <p>12)市長は、焦りすぎているように思う。もっと時間をかけて議論すべきではないか。</p>		

地区館名	三川地区公民館	実施日	令和 元年 6 月 22 日
参加者数	18人	場所	研修室A・B
主な意見	<p>1) 全て耐震改修により対応している自治体もあるにもかかわらず、新しい庁舎をつくりたいという意味が分からない。</p> <p>2) 大牟田市は、震度6以上の大きな地震は経験していない。地震対策をそこまでしなくてよいのではないか。</p> <p>3) 現在の庁舎は分かりにくく、バリアフリーが不十分だが、努力や工夫によって今の建物を使い続けることができるのではないか。</p> <p>4) 耐震化やバリアフリーなどは確か必要だが、車社会である現在において、公共共通の利便性が高い現在地である必要はないのではないか。例えば、イオンなどの商業施設に入って賃料を払うなどのやり方もあるのではないか。</p> <p>5) 本館を、100年保存できれば熊本城などと同じ価値が生まれるのではないか。</p> <p>6) 今後、10年から20年後は、IT化やAIの進展により、これまで経験していない社会が訪れる。これまでの社会基盤に考え方は変わる。それを見越した検討が必要。</p> <p>7) 庁舎が備えるべき5つの機能は理解でき、改修でも建替えでもどちらでもよいと思っているが、財源が課題である。</p> <p>8) 市はこれまで建て替えようという説明しかしてきていない。これまでの公共事業はろくな結果をもたらしておらず、もっと市民の声を聞いて進めていくべき。</p> <p>9) 多くの借金（公債費）がある中、なぜ建て替えようとしているのか理解できない。</p>		